

# 令和4年度

## 各教科の評価について

### 2 学年 / 1 学期

この冊子には、各教科の『観点別学習状況の評価(A・B・C)』  
の評価対象や方法等についてまとめてあります。

★各観点の目標に対して

○十分満足できると判断されるもの → A  
(達成率 80%以上の場合)

○概ね満足できると判断されるもの → B  
(達成率 50%以上)

○努力を要すると判断されるもの → C  
(達成率 50%未満)

★各教科3つの観点別学習状況の評価を総合して、  
その教科の『評定(5・4・3・2・1)』が決まります。

令和4年4月

港区立高陵中学校

2年1学期

## 国語科の評価について

教科担当

大島

評価の観点

・今学期の目標 評価対象 評価方法など

## ● 知識・技能

以下の学習活動を通し、国語の知識や技能を身につける。

- ・「漢字」…常用漢字を文や文章の中で活用することができる。
- ・「語彙」や「文や文章」…語句の量を増やし、語句について理解を深めることができる。
- ・「表現の技法」…表現の技法についてその名称とともに理解し使うことができる。
- ・「情報に関すること」…様々な媒体から必要な情報を取り出し、情報同士の関係を整理して、発信したい情報を様々な手段で表現することができる。
- ・「伝統的な言語文化」…伝統的な言語文化に親しみ、長く親しまれている言葉や古典の一節を引用して使うことができる。
- ・「書写」…身の回りの多様な表現を通して、効果的に文字を書くことができる。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）・定期考査など

## ● 思考・判断・表現

以下の学習活動を通し、考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いを広げたり深めることができる。

- ・「聞くこと・話すこと」…自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。
- ・「書くこと」…伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。
- ・「読むこと」…文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方

を捉えることができる。

【評価方法】討論や発表・課題作文・授業課題（ワークシートなど）・定期考査

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・「文学的文章(登場人物の設定を捉える単元)」では、「登場人物の心情や考え方が表れた語句を抜き出し、印象に残った語句について説明する」言語活動を通して、既存知識を調整しながら課題解決を図るなど、主体的に学習に取り組もうとしている。
- ・「説明的文章(文章の構成や論理の展開を読み取る単元)」では、文章を読み「考えたことを説明したり文章にまとめたりする」言語活動を通して、課題を解決するための粘り強さを養おうとしている。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）

【評価例】※「文学的文章(登場人物の設定を捉える単元)」で、「登場人物の心情や考え方が表れた語句を説明する」ことが授業目標の場合

A…印象に残った語句を、読み手の立場に立ち、説得力を高めるための工夫を取り入れながら（既存知識を調整しながら）、その理由とともに説明しようとしている。

B…印象に残った語句を、その理由とともに説明しようとしている。

2年1学期

## 社会科の評価について

教科担当

小柳・小野原

## 評価の観点 ・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

【地理】第3部 日本のさまざまな地域

第1章 身近な地域の調査, 第2章 日本の地域的特色

【歴史】第4章 近世の日本

1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一, 2節 江戸幕府の成立と対外政策

## ● 知識・技能

【地理】・地図や景観写真, 統計資料などを的確に読み取る技能や, 地域調査を行う際の視点, 方法を理解している。

・日本の地域的特色を, 自然環境や人口, 資源・エネルギー, 産業, 交通・通信の視点から, 写真, 図版, 地図, 雨温図など, さまざまな資料を適切に選択して読み取り, 理解している。

【歴史】・ヨーロッパ人來航の背景とその影響, 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係, 武将や豪商などの生活文化の展開などを基に, 近世社会の基礎が作られたことを理解している。

・江戸幕府の成立と大名統制, 身分制と農村の様子, 鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に, 幕府と藩による支配が確立したことを理解している。

【評価方法】単元テスト, 定期考査, ワークシート, 授業プリント, ICT利用ワーク, 発言発表, 行動観察

## ● 思考・判断・表現

【地理】・対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ, それらを多面的・多角的に調査, 考察している。

・日本の自然環境や人口, 資源・エネルギー, 産業, 交通・通信などの地域的特色が, どのように変化し, どのような課題を抱えているのか, 多面的・多角的に考察し, 表現している。

【歴史】・交易の広がりとその影響, 統一政権の諸政策の目的に着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 世界の動きと統一事業について, 近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。

・統一政権の諸政策の目的に着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 江戸幕府の成立と対外関係について, 近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。

【評価方法】単元テスト, 定期考査, ワークシート, 授業プリント, ICT利用ワーク, 発言発表, 行動観察

## ● 主体的に学習に取り組む態度

【地理】・対象地域の特色や課題を主体的に追究している。

・自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など, 身近な地域や生活との関わりに着目して, 日本の地域的な課題について, 主体的に追究しようとしている。

【歴史】・世界の動きと統一事業について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。

・江戸幕府の成立と対外関係について, そこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。

【評価方法】行動観察, 発言発表, ノート, ワークシート, 授業プリント, ICT利用ワーク, 提出物(宿題等)

【評価例】単元の学習の振り返り時の記述を基に評価する場合。(ワークシート)

A・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述し、さらに妥当性のある根拠をもった具体的な解決策を提案したりするなど、質的な高まりや深まりをもとうとしている。

B・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述しようとしている。

2年1学期

## 数学科の評価について

教科担当

和田・桑原・大久保

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 1章 文字式を使って説明しよう〔式の計算〕  
2章 方程式を利用して問題を解決しよう〔連立方程式〕  
3章 関数を利用して問題を解決しよう〔1次関数〕

## ● 知識・技能

- ・文字を用いた簡単な式の四則計算ができる。
- ・連立方程式を解くことができる。
- ・一次関数の関係を表す式を作ったり、グラフをかいたり、連立方程式を解いたりすることができる。
- ・単項式と多項式の意味、文字式の四則計算の仕方、一次関数の基本的な特徴が理解できる。
- ・連立方程式の性質とその解の意味が理解できる。

## 【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

## ● 思考・判断・表現

- ・文字を使った式、連立方程式、1次関数を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。
- ・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。
- ・1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。
- ・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。

## 【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・文字を使った式、連立2元1次方程式、1次関数の必要性和意味を考えようとしている。
- ・文字を使った式、連立2元1次方程式、1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
- ・毎時間の授業に積極的に参加し、数学を活用して、問題解決に向けて積極的に取り組もうとする。
- ・分からない問題に対し質問をしたり、話し合いをしたりすることで粘り強く考察し、解決しようとしている。
- ・ワークシートを工夫しながら書いている。
- ・課題などの提出物に粘り強く取り組み、分からない問題は繰り返し解くことで理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。

## 【評価方法】

単元テスト、行動観察、ワークシート、振り返りシート

## 【評価例】

1つの問題に対するいくつかの解き方を比較し、自分なりの考察を加えて、残した記述をもとに評価する場合。（ワークシート）

A・・・複数の解決方法に対して自分なりの考察を加え、より良い方法を理由とともに記述しようとしている。

B・・・複数の解決方法があることを理解しようとしている。

2年1学期

## 理科の評価について

教科担当

儀保・清水

評価の観点

と今学期の目標・評価対象・評価方法など

## ● 知識・技能

- ・物質の成り立ちや化学変化、細胞や動物の体のしくみやはたらきについて、科学的な知識を増やす。
- ・教科書で学習した理科用語について、正しく用いることができる。
- ・安全に配慮しながら実験器具を正しく操作し、実験を進めることができる。
- ・実験の結果や観察のスケッチなど、正確に記録することができる。

## 【評価方法】

小テスト、ノート、レポート、ワークシート、小テスト、定期考査、行動観察など

## ● 思考・判断・表現

- ・実験の結果をもとに自ら考え、法則やきまりを導き出すことができる。また、それらを科学的に正しく表現することができる。
- ・物質は原子や分子でできていることを理解し、さまざまな化学変化について考えることができる。
- ・動物の体のつくりやはたらきについて、自分と関連づけながら考えることができる。
- ・水溶液に電流を流したときの変化について実験を行い、実験結果を分析・解釈し、分解によって生成した物質を推定することができる。

## 【評価方法】

小テスト、ノート、レポート、ワークシート、定期考査など

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・積極的に生物の細胞の観察に取り組み、生物の体のつくりの共通点を見いだそうとする。
- ・光合成と葉緑体の関係について、探究しようとしている。
- ・唾液のはたらきを調べる実験について、他者とかわりながら、見通しをもって実験を主体的・協働的に計画しようとする。
- ・水が分解するとどうなるかという問題に進んで関わり、見通しをもつなど、科学的に探究しようとする。
- ・これまでの学習をふり返り、状態変化と化学変化の違いについて、原子や分子のモデルと関連づけながら、粘り強く解決しようとする。

## 【評価方法】

行動観察、発言・発表、自己評価、ノート、レポート、ワークシート、課題提出

## 【評価例】

二酸化炭素中でマグネシウムリボンが燃焼する現象を、原子や分子のモデルを用いて説明しようとしているかを、ワークシートの記述を基に評価する場合。

A…学習前後を振り返って、対話を通して、課題を解決しようとしており、学習前後における変容を具体的に記述している。

B…学習前後を振り返って、対話を通して、課題を解決しようとしている。

2年1学期

## 音楽科の評価について

教科担当

山 崎

## 評価の観点

・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

歌唱【翼をください】【夏の思い出】 【Joyful Joyful】

◎ガイダンス ◎パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう

鑑賞【交響曲第5番 ハ短調】

◎曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう

器楽【ラヴァーズコンチェルト】 【リコーダー LESSON2】

◎曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう

合唱【合唱コンクール課題曲】 ◎曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう

## ● 知識・技能

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。
- ・ 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
- ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表すことができる。

【評価方法】 定期考査 行動記録 iPadによる記録 ワークシート ワーク

## ● 思考・判断・表現

- ・ リズム、テクスチュア、構成について理解し、それらを曲の中から見つけることができ、書き込むことができる。
- ・ 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現や器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもち、説明することができる。
- ・ 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

【評価方法】 定期考査 行動記録 ワークシート ワーク iPadによる記録

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】 定期考査 行動観察 ワークシート iPadによる学習の成果の変化

【評価例】

○教科書・ワーク・楽譜・プリント・ファイル提出

A・・・工夫しようとしている（自分で調べたこと、友達の意見、色を使っている）

B・・・学んだことを書き込もうとしている。

○iPadによる学習の成果の記録

A・・・最初に録音したものと学習を深めた後の録音で変化をわかろうとしている。

B・・・最初に録音したものと学習を深めた後で変化はわからないが言葉で伝えようとしている。

## 2年1学期

## 美術科の評価について

伊 藤

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

## 知識・技能

- ・表現したい内容を分析し、手順を考え、丁寧に作業している。
- ・拡大転写や模写の方法を理解し、下描きから彩色、仕上げまでの制作の見通しを持って制作している。
- ・見本となる作品から構図や配色、筆づかい、細部の描き方等を学び取り、表現に生かしている。
- ・水彩画の基礎技法を理解し、作品に生かそうとしている。
- ・作業手順を理解し、計画に合わせて表現の工夫をしながら、的確に作業を進めている。
- ・見本となる作品から受ける情感を読み取り、自分の作品に反映できる。
- ・西洋美術史の概要を把握している。

## 思考・判断・表現

- ・感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさを考えて創造的に表現の構想を練っている。
- ・作品の美しさやよさ、制作意図を感じとっている。
- ・作品の意図について話し合い、表現の工夫を味わうことができる。
- ・美術文化や表現様式に対して、見方や感じ方を深めている。
- ・西洋美術史の概要を把握し、作品を鑑賞し、よさを味わうことができる。
- ・自己の作品も客観的に判断し、参考作品から学んだことなどを生かしている。
- ・多様な可能性（複数のアイデア）を考えて検討し、最善の表現をしようとしている。

## 主体的に学習に取り組む態度

- ・創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。
- ・さまざまな描画技法の魅力に注目し、多様な表現に関心を持って制作に取り組もうとしている。
- ・課題を理解し、積極的に取り組もうとしている。
- ・表そうとする対象を注意深く観察し、丁寧に根気よく描こうとしている。
- ・授業や課題には積極的に取り組み、意欲的に作業をしたり発言しようとしている。
- ・作品の完成度を高めるために創意工夫をし、最後まで根気よく丁寧に制作しようとしている。
- ・美術の準備、後片付けができ、作業時間を有効に利用しようとしている。
- ・忘れ物をしない。提出物の提出期限を守ろうとしている。

## 今学期の主な評価対象

- ・授業への取り組み方
- ・アイデアスケッチ
- ・作品
- ・期末考査

2年1学期

## 保健体育科の評価について

教科担当

菅谷・服部

## 評価の観点

今学期の目標・評価対象・評価方法など

体づくり運動・陸上競技(短距離走・リレー・長距離走・ハードル走)

球技(ソフトボール・バドミントン・バレーボール)

保健(喫煙と健康・飲酒と健康・薬物乱用と健康など)

## ● 知識・技能

## ○知識

- ・陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
- ・陸上競技は、古代ギリシアのオリンピック競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて、言ったり書き出したりしている。
- ・球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。
- ・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用について、理解したことを言ったり書いたりしている。

## ○技能

- ・クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。
- ・自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。
- ・リレーでは、次走者がスタートするタイミングやバトンを受け渡すタイミングを合わせることができる。
- ・自己に合ったピッチとストライドで、上下動の少ない動きで走ることができる。
- ・ペースを一定にして走ることができる。
- ・遠くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。
- ・インターバルを3または5歩でリズムカルに走ることができる。
- ・地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。
- ・打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。
- ・ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ることができる。
- ・サーブでは、ボールやラケットの中心付近で捉えることができる。
- ・味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。
- ・相手側のコートの中にある場所にボールを返すことができる。
- ・テイクバックをとって肩より高い位置からボールを打ち込むことができる。

## ● 思考・判断・表現

- ・提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。
- ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。
- ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・体づくり運動、陸上競技、球技、保健の学習に積極的に取り組もうとしている。
- ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。
- ・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。
- ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。
- ・作戦などについての話合いに参加しようとしている。
- ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
- ・健康・安全に留意しようとしている。

【評価方法】・行動観察 ・学習カード ・実技テスト ・期末考査

【評価例】 用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている様子を観察して評価する場合。

A・・・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を常に果たそうとしている

B・・・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。

2年1学期

## 技術科の評価について

教科担当

末永

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- エネルギー変換に関する技術  
・エネルギーの種類と特徴、日本の発電、電気回路と電気素子

## ● 知識・技能

- ・回路図が正しく描ける。
- ・エネルギーについての特徴を理解することができる。
- ・日本の発電・送電についての特徴を理解することができる。
- ・生物を育成するのに必要な条件を正しく理解することができる。
- ・電気素子の特性と用途を理解することができる。
- ・はんだ付けができる。 ・ネジしめをすることができる。 ・生物育成記録をとることができる。

## 【評価方法】

小テスト、定期考査、行動観察、ワークシート、作品

## ● 思考・判断・表現

- ・実習の際に手順などを考えて、より強度の高い作品や精密な作品を作ることができる。
- ・毎回の授業で学んだことをまとめ、表現することができる。

## 【評価方法】

定期考査、行動観察、ワークシート、作品

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・実習の際に、自分の作業ペースを考えながら、毎回適切な目標を立てようとして、それを達成するために、粘り強く作業に取り組もうとしている。
- ・積極的に社会的な課題やSDGs などについて考え、それを解決するためにはどのようなことができるかなどを考え、探求しようとしている。

## 【評価方法】

行動観察、ワークシート、定期テスト、作品

## 【評価例】

作品づくりをする際の最初の目標設定と最後の振り返りで評価する場合。（ワークシート）

- A・・・自分の作業ペースを考えながら、その日の目標を具体的に立てることができ、振り返りの際に達成・未達成にかかわらずなぜこの結果になったのか記入しようとしている。
- B・・・その日の最初に目標を立てることができ、振り返りの際に、達成できたが未達成だったのか記入しようとしている。

## 2年1学期

## 家庭科の評価について

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

1編 3章 調理のための食品選択と購入

## ● 知識・技能

- ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。
- ・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品・加工食品の選択について理解している。
- ・食品の適切で安全な扱い方について理解しているとともに、適切にできる。
- ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。
- ・基本的な日常食の調理が適切にできる。

## 【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品・実技試験

## ● 思考・判断・表現

- ・食品の選択について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
- ・日常の1食分の調理について問題をみいだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。

## 【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
- ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

## 【評価方法】

行動観察・ワーク・振り返りシート

## 【評価例】

課題に対して自分で立てた計画や考えを振り返り、自分なりの考察を加えて残した記述をもとに評価をする場合。

A…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどを参考に、向上心を持ち自ら取り組むなど具体的な解決策を考え、実生活に生かそうとすることが伝わる記述や作品作りをすることができる。

B…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどがあることを理解することができる。

2年1学期

## 英語科の評価について

教科担当

細野・石川・

樫原・小野・

**評価の観点** ・今学期の目標・評価対象・評価方法など

Unit 0 ・これまで学んだことを用いて、自分の経験を話すことができる。  
Unit 1 ・相手の予定について書いた文を理解したり、自分の予定を伝えたりすることができる。  
Unit 2 ・好きな食べ物やその理由について、紹介することができる。  
Unit 3 ・自分の将来の夢について書かれた内容を理解したり、自分の夢を伝えたりすることができる。  
Let's Talk 1 ・場面に応じて苦情を言ったり、謝ったりすることができる。  
Let's Talk 2 ・場面や相手に応じて、丁寧に許可を求めたり、依頼したりすることができる。  
Let's Write 1 ・留守番電話のメッセージを聞いて、内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。

### 【知識・技能】

- 過去形や過去進行形の使い方の違いを理解し、使い分けて自分の経験を伝える技能を身に着けている。
- There is / are の文の使い方を理解し、自分の町にあるものを紹介したり、尋ねたりする技能を身に着けている。
- be going to / will を用いた文の使い方を理解し、自分の予定を話したり、相手の予定を尋ねたりする技能を身に着けている。
- 第4文型 SVOO 第5文型 SVOC の文の使い方を理解し、人に何かを紹介したりする技能を身に着けている。
- 接続詞 when, if, that, because を用いた文の使い方を理解し、時や条件、考えや理由などを伝える技能を身に着けている。
- 不定詞の用法を理解し、目的や原因、自分の感情を伝えたり説明したりする技能を身に着けている。
- ホテルでのトラブルや、苦情を言うときや謝罪するときの表現を理解し、伝える技能を身に着けている。
- 相手にしてほしいことを丁寧に頼む表現を理解し、伝える技能を身に着けている。
- 電子メールの基本的な構成や表現を用いて、メールを書く技能を身に着けている。

### 【思考・判断・表現】

- 動詞の過去形、過去進行形を用いて、自分の経験したことについて相手に伝えたり、相手の言うことを理解したりすることができる。
- 未来の表現を用いて、お互いの予定や休暇について質問したり、答えたりすることができる。
- 観光名所の特徴を人に伝えたり、人が説明する内容を理解したりすることができる。
- 好きな食べ物やレストランとその理由について、相手に伝えたり、相手の言うことを理解したりすることができる。
- 職業について書かれた文章の概要を理解したり、自分の将来像や夢について考え、相手に伝えたり、相手の言うことを理解したりすることができる。
- トラブルを解決するために、状況を整理して相手が理解できるように伝えたり謝ったりすることができる。
- 相手や場面に応じて、丁寧に許可を求めたり依頼したりできる。
- 留守番電話の内容に対し、伝えたい内容を整理し返信メールを書くことができる。

### 【主体的に学習に取り組む態度】

- 自分の思い出を伝えるために、今まで学習した語句を用いて書いたり話したりしている。
  - 旅行するのによい場所を知るために、おすすめの場所やそこでしたことを聞き取ろうとしたり、調べた情報を元に相手に伝えようとしたりしている。
  - 好きな食べ物やレストランとその理由について、読んで理解しようとしたり、自分で紹介しようとしたりしている。
  - 職業について書かれた文を理解し、自分の夢を実現するためにしていることなどを説明しようとしている。
  - 場面や相手に応じて、相手に理解しやすいように伝えようとしている。
- (評価方法) ・行動観察、ワークブック、ワークシート、ノートチェック、単語練習シート等
- (評価例) 「A」・・・異なる動詞を5つ以上使い、行った行動だけでなく自分の感想なども表現している。  
「B」・・・異なる動詞を5つ以上使い、行った行動を説明している。